

ワクチン接種について

行財政・新型コロナウイルス感染症等
危機管理対策特別委員会 資料2-3
令和3年(2021年)7月14日(水)
健康医療福祉部

一般向けワクチン接種状況

全年代人口	1,420,948人	
	高齢者	365,681人
1回目接種済人数	350,411人	24.7%
	高齢者	305,620人 83.6%
2回目接種済人数	194,260人	13.7%
	高齢者	184,241人 50.4%

医療従事者等の接種希望者
45,514人については、
7月5日に接種完了

令和3年7月12日時点VRS反映分

市町へのワクチンの配布状況

	12歳以上人口	配送週および箱数										箱数計
		第1クール	第2クール	第3クール	第4クール	第5クール	第6クール	第7クール	第8クール	第9クール	第10クール	
		4月5日 の週	4月12日 の週	4月19日 の週	4月26日の週 +5月3日の週	5月10日の週 +5月17日の週	5月24日の週 +5月31日の週	6月7日の週 +6月14日の週	6月21日の週 +6月28日の週	7月5日の週 +7月12日の週	7月19日の週 +7月26日の週	
大津市	304,226	1	2	2	14	16	38	39	49	25	20	206
草津市	124,156		1	1	5	11	16	14	12	12	8	80
守山市	71,595	1			3	14	10	6	5	9	9	57
栗東市	60,551			1	2	8	4	5	5	7	8	40
野洲市	43,887			1	2	3	5	9	7	4	4	35
甲賀市	79,542		1	0.2	5	15	7	8	11	10	5	62.2
湖南市	48,409			0.8	3	6	6	2	8	13	4	42.8
東近江市	100,231		1	1	5	16	11	14	13	7	7	75
近江八幡市	72,196		1.7		4	8	9	8	11	7	5	53.7
日野町	18,847		0.2		1	6	2	2	1	1	2	15.2
竜王町	10,707		0.1		1	2	3	0	2	3	1	12.1
彦根市	100,297		1.7		5	11	14	15	11	10	7	74.7
愛荘町	18,199		0.1		1	5	2	1	1	3	2	15.1
豊郷町	6,511		0.1		1	2	0	1	0	1	1	6.1
甲良町	5,828		0.1		1	2	1	0	1	1	1	7.1
多賀町	6,428		0.1		1	2	2	0	1	1	1	8.1
長浜市	100,515		1	1	5	14	15	10	16	10	8	80
米原市	33,447			1	2	4	4	5	4	1	4	25
高島市	42,371			1	3	12	8	5	5	4	3	41
(合計)	1,247,943	2	10	10	64	157	157	144	163	129	100	936
増減率			500%	100%	640%	245%	100%	92%	113%	79%	78%	

ワクチン接種の副反応について

副反応疑い報告数

○ワクチン接種は、体内に異物を投与し免疫反応を誘導し、感染症に対する免疫を付与すること目的として行われるため、効果とともに、副反応が生じうる。

○本県の医療機関から、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)に『新型コロナワクチンの接種後の副反応疑い』として報告がなされたものとして、厚生労働省から県に情報提供があったものを集計。

○ワクチン接種後には、接種と因果関係のない偶発的な事象も生じるが、因果関係が不明な場合も含めて、副反応を疑う事例として広く収集し、評価の対象としている。

令和3年7月12日現在

	副反応疑い報告数			年代別	
		うち重篤		64歳以下	65歳以上
			うち死亡		
男性	23	10	2	14	9
女性	58	19	3	38	20
不明	0	0	0	0	0
合計	81	29	5	52	29

※ 死亡の5例すべてについて、医療機関からはワクチン接種との因果関係が評価不能と報告されている。

専門相談窓口 相談件数

医療機関からのワクチンに関する専門的な問い合わせや、県民からのワクチンの副反応、効果等について、市町での対応が困難な相談に対応するための窓口を設置

総件数		手段内訳			内容内訳			
		電話	FAX	メール	接種後の副反応の相談	接種前の副反応の心配	副反応以外の医療に係る相談	その他
日中	14,797	14,722	13	62	2,407	2,641	999	8,750
夜間	1,642	1,642	0	0	906	162	265	309
合計	16,439	16,364	13	62	3,313	2,803	1,264	9,059

※1 日中...午前9時から午後6時まで、夜間(4/12から)...午後6時から午前9時まで

※2 その他...当窓口で本来対応すべき内容ではないワクチン接種に関する苦情や接種の予約など

令和3年3月1日～令和3年7月12日

広域ワクチン接種センターについて

日程

	場所	運営時間	開設日時
大津会場	Oh! Me大津テラス	9時00分～17時00分 ※ 8月6日(金)までは 13時30分～17時00分	7月10日(土)13時30分～
彦根会場	滋賀県立大学		

医療従事者

(7月分)

	医師(予診業務)		看護師(接種・健康観察業務)	
南部会場	4名/日	・滋賀医科大学3名 ・その他医師1名	12名/日	・サポートナース62名
北部会場	2名/日	・総合病院1名 ・びわこリハビリテーション専門 職大学1名(土曜日以外) ・その他医師2名(土曜日)	6名/日	・サポートナース42名

※ その他、受付・誘導・警備等の運営スタッフとして、民間事業者に委託

広域ワクチン接種センターについて

運営状況

令和3年7月12日現在

月日	接種人数(単位:人)												要看護件数(単位:人)							
	南部						北部						南部			北部			計	
	予約者 へ接種	キャンセル 余剰分接種		計	予約者 へ接種	キャンセル 余剰分接種		計	予約者 へ接種	キャンセル 余剰分接種		計	看護件数	症状	看護件数	症状	看護件数			
		うち 県職員	うち 県職員			うち 県職員	うち 県職員			うち 県職員	うち 医師 対応							うち 医師 対応	うち 医師 対応	
7月10日 土	626	6	(6)	632	353	7	(1)	360	979	13	(7)	992	3	(1)	気分不良	1	(1)	発疹	4	(2)
7月11日 日	333	6	(6)	339	323	7	(6)	330	656	13	(12)	669	1	(1)	気分不良	1	(0)	軽い発疹	2	(1)
7月12日 月	475	4	(3)	479	289	1	(1)	290	764	5	(4)	769	3	(3)	接種部位の腫れ	5	(2)	気分不良	8	(5)
	1,434	16	(15)	1,450	965	15	(8)	980	2,399	31	(23)	2,430	7	(5)		7	(3)		14	(8)

予約受付関係

職 種	受付開始	受付方法
警察、教職員、消防	7月1日(木)	職場を通して受付
福祉関係等	7月12日(月)	予約受付システムを通して受付 7月17日(土)から接種予定

※ 受付システム関係等コールセンター 7月12日から開始 9時~17時(平日、土、日、祝日)

広域ワクチン接種センターについて

第2弾対象者の考え(現在の対象者の次の段階)

- (1) 第2弾の対象者数
約6万人
- (2) 第2弾の対象者の考え方
緊急事態宣言下において、国民生活、国民経済の安定確保に不可欠な職種等を選定。
- (3) 接種開始予定時期等
8月下旬(予定)

職 種	人数(概数)
上下水道	2,000
理美容、公衆浴場、クリーニング	10,000
廃棄物収集等のごみ処理関係	3,000
運輸・交通事業者	16,700
消防団	8,900
宿泊業	7,500
飲食業(飲食店認証制度 認証店舗)	10,000
合計	58,100

★予約状況、ワクチンの確保の見通し、市町の接種状況により変更する場合がある

★職域接種の対象とならなかった学生についても検討していく。

広域ワクチン接種センターについて

余剰ワクチンの取り扱いについて

ワクチン接種にあたっては、被接種者の予約キャンセルや予診時の医師の判断等によりワクチン接種できないことが想定されることから、キャンセル等で余剰となったワクチンについて廃棄することなく効率的にワクチン接種を行うため、以下の方針により対応していく。

1 対応方針

キャンセル等によりワクチンに余剰が生じてしまった際、速やかに対応できるようあらかじめ接種対象者(以下「キャンセルワクチン接種対象者」という。)を選定しておく。

2 キャンセルワクチン接種対象者の考え方

キャンセルは急遽発生するため、「①接種場所近郊ですぐに会場に行ける者」、「②県民が合理的に納得できる者」を選定する。

【キャンセルワクチン接種対象者】

南部会場	警察職員(大津警察署、県警本部)・名簿の後順の者
	滋賀県職員(大津、湖南、甲賀、高島圏域)・危機管理や感染症対策に従事する者、県民に頻繁に接する機会のある者など
	近隣の国および市町の職員
北部会場	県立大学の職員(事務職、生協職員等)
	滋賀県職員(湖東、湖北、東近江圏域勤務)・危機管理対策や感染症対策に従事する者、県民に頻繁に接する機会のある者など
	近隣の国および市町の職員

3 滋賀県職員の具体的な対象者および考え方

(1)危機管理に従事する者……災害時等において県民の生命・財産を守るため業務を停止することができない

【対象者】 危機管理に従事する職員(災害対策本部員・地方本部員(知事・副知事・部長を含む)等)

(2)感染症対策に従事する者……新型コロナウイルス感染症において県民の生命・健康を守るために業務を停止することができない

【対象者】 健康医療福祉部において感染症対策に従事する職員

(3)県民に頻繁に接する機会のある者……県民の社会経済活動等を停止することができない業務に従事する職員

【対象者】 保健所、県税事務所、土木事務所等

4 接種対象者決定の流れ

「キャンセルワクチン接種予定者名簿」を作成し、名簿の上位の者から本人の意向を確認した後、余剰ワクチン接種対象者を決定する。

5 留意点

- ・ワクチン接種後は、発熱・倦怠感等の副反応が生じる可能性があることから、翌日の職務等を勘案して接種を受けるか判断する必要がある。
- ・1回目の接種の4週間後に2回目の接種を受ける必要がある。

職域接種について

経緯

- 6月8日から職域接種の申請を開始し、6月21日から接種スタート。
- 6月25日金曜日の午後5時をもって申請を一時休止。(6月23日河野大臣記者会見において発表)
- 6月29日河野大臣記者会見「今週中には何らかの方針を示したい。」(申請再開しない方針)
- 7月2日河野大臣記者会見「厚労省からの申請内容確認メールが届いた事業所に関しては、当初の申請通りに接種できるようワクチンの供給の手続きを進めている。確認待ち状態の事業所に関しては、7月中に接種を始めさせていただくことは非常に難しい。8月2日の週から順にワクチン配送を始めたい。」
- 7月6日河野大臣記者会見「モデルナ製ワクチンについて、6月末までの供給量が、当初契約(4,000万回)より大幅に少ない1,370万回分だった。」

申請状況等

ワクチン接種に関する地域の負担を軽減し、接種の加速化を図るため、6月21日から、企業や大学等において、職域(学校等を含む)単位でのワクチン接種開始

- ◆県内事業所からの7月12日現在の
申請件数: 73件 相談件数: 376件(職域接種相談デスク対応件数)

<7月12日現在>

- ・開始済事業所数: 24件
- ・接種予定人数の多い事業所・大学には、国から人数精査の依頼が入っている。
- ・キャンセル4件(理由: ワクチン見通しが立たないため、1,000人確保できないため)